

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公開番号】特開2001-166236(P2001-166236A)
 【公開日】平成13年6月22日(2001.6.22)
 【出願番号】特願平11-344955
 【国際特許分類】

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 26/10 F

【手続補正書】
 【提出日】平成18年12月4日(2006.12.4)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源と、前記光源から出射された光束を偏向する偏向器と、前記偏向器にて偏向された光束を感光体上に結像させる結像光学素子と、前記結像光学素子の位置を規制する位置規制部材と、前記結像光学素子を保持する筐体と、を有する光走査装置であって、

前記結像光学素子は、副走査方向のパワーの絶対値が主走査方向のパワーの絶対値より大きいアナモフィックな光学面を備えており、

前記位置規制部材は、前記筐体の成形時に前記筐体と一体的に形成されており、

前記結像光学素子及び前記位置規制部材は共に、前記結像光学素子が主走査方向と平行な軸周りで回動することを、互いが当接することで規制する基準面を備えており、及び、

前記位置規制部材の基準面の面法線は、前記結像光学素子の光軸に対して副走査方向において前記反筐体側へ傾いていることを特徴とする光走査装置。

【請求項2】

光源と、前記光源から出射された光束を偏向する偏向器と、前記偏向器にて偏向された光束を感光体上に結像させる結像光学素子と、前記結像光学素子の位置を規制する位置規制部材と、前記結像光学素子を保持する筐体と、を有する光走査装置であって、

前記結像光学素子は、副走査方向のパワーの絶対値が主走査方向のパワーの絶対値より大きいアナモフィックな光学面を備えており、

前記位置規制部材は、前記筐体の成形時に前記筐体と一体的に形成されており、

前記結像光学素子及び前記位置規制部材は共に、前記結像光学素子が主走査方向と平行な軸周りで回動することを、互いが当接することで規制する基準部を備えており、

前記位置規制部材の基準部は、前記結像光学素子の光軸方向において段差形状を備えており、及び、

前記段差形状は、光軸方向において前記位置規制部材の結像光学素子側から順に進むにつれ、副走査方向に前記位置規制部材が設けられている前記筐体内面部からの高さが増大する段差を有する形状であることを特徴とする光走査装置。